

1 概況

摘採は、各地区でばらつきがあるものの冷蔵網で1～5回目、秋芽網では4～7回目を実施しています。
植物プランクトンは多くの漁場で増加傾向です。栄養塩は、知多地区のほぼ全域で不足していますが、西三河地区では、概ね十分量ありました。
あかぐされ病に関する報告が増えてきています。病勢の大きな拡大には至っていないようですが、適切な干出及び早期摘採等による網管理を心がけ、少しでも長い期間摘採できるよう努めてください。

2 気象・海況

<水温> 2月19日

2～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	8.0 °C
	平年差	+0.4 °C

<水温> 2月20日

漁生研 (-1.0m)	10時水温	9.0 °C
	平年差	-0.7 °C

<潮位偏差> 2月19日

名古屋港	日平均偏差	-12 cm
	5日平均偏差※	-5 cm

※2月15日から3号ブイは補修のため停止しています。

※2月15日～19日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	鬼崎～小鈴谷: やや少ない、野間～豊浜: 少ない	なし	植物プランクトンは散見～やや多い
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンは少ない
西三河地区	西尾・味沢: 多い、一色～衣崎: やや多い	なし	植物プランクトンは少ない
東三河地区	本年度の調査終了		

※栄養塩基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000～、やや多い: 5,000～10,000、少ない: 1,000～5,000、散見: 100～1,000、ほとんどいない: ～100

<気温動向の予測> (気象庁週間予報より 予報期間: 2月21日から2月26日まで)

今後1週間	期間を通して、平均気温の低い日が多いでしょう。特に土曜日から月曜日にかけて、気温はかなり下がる見込みです。
-------	---

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病被害その他
知多西岸地区	冷蔵: 1～5回	500～1,500枚	色調は一部で回復傾向	カモ、魚	あかぐされ病散見 一部で秋芽・後期冷蔵生産
知多東岸地区	秋芽: 5～7回	350～600枚	色調は一部で回復傾向	なし	病被害なし
西三河地区	冷蔵: 3～4回	800～1,200枚	製品はまずまず 一部で色調低下	ごく一部	一部であかぐされ病 一部で秋芽生産
東三河地区	秋芽: 4～5回	1,500枚	色、伸び 回復傾向	不明	一部は青ノリ 生産に移行

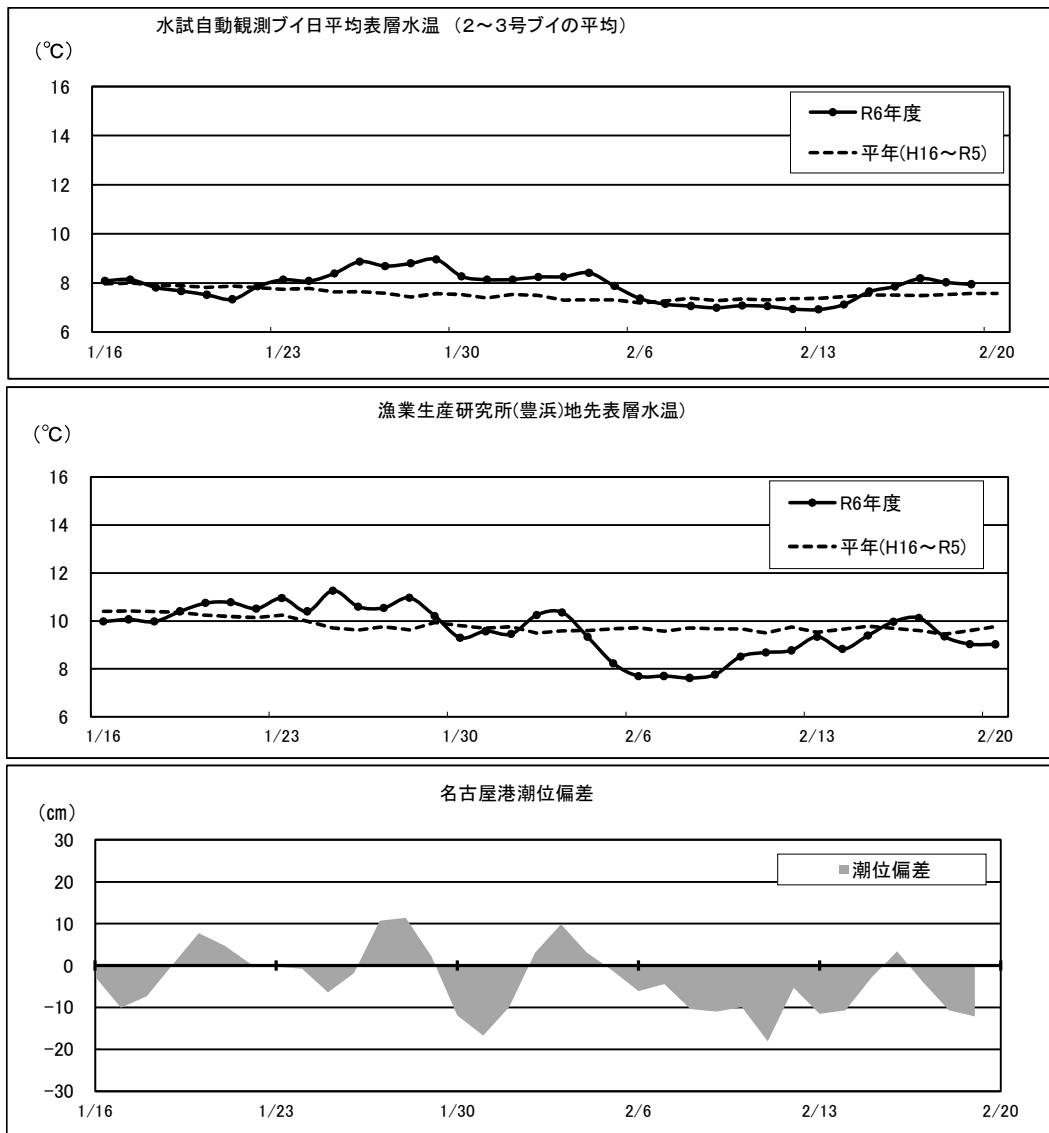
4 今後の管理

- あかぐされ病蔓延防止のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

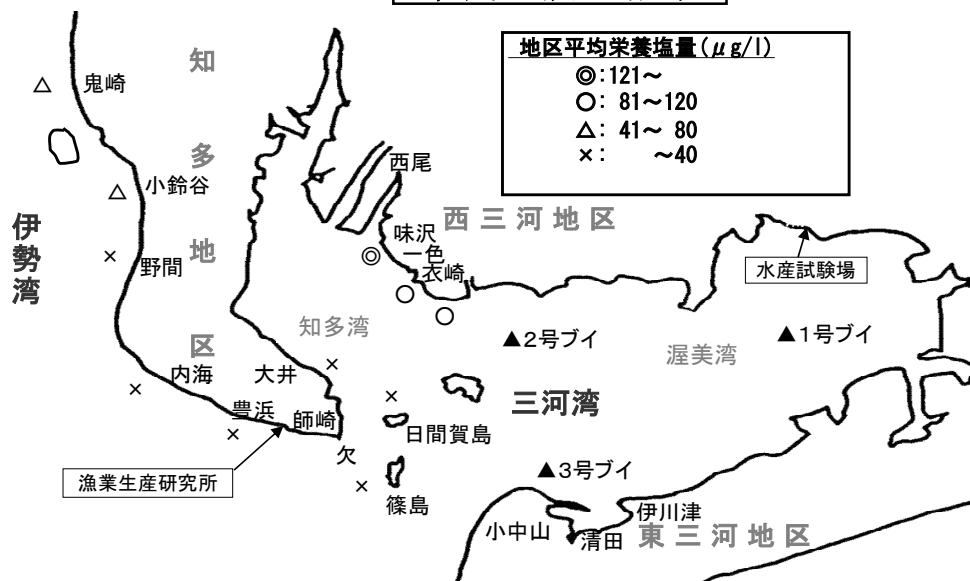
水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。
水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
令和6年度の「のり養殖情報」は次回で終了予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査結果



栄養塩調査日: 知多: 2月20日(木)、西三河: 2月20日(木)、東三河: 調査終了
調査機関: 知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会